

会議要録

会 議 名	旭町・明神町地区周辺まちづくり懇談会（第1回）				
日 時	令和2年10月26日（月） 午前9時30分～11時30分				
場 所	学園都市センター 第1セミナー室				
出 席 者 氏 名	参加者 ◎座長 ○副座長	明星大学	◎ 西浦 定継	八王子市商店会連合会	深沢 靖彦
		工学院大学	○ 野澤 康	多摩信用金庫	岡本 彰子
		拓殖大学	工藤 芳彰	東日本旅客鉄道株式会社	筑井 裕之
		八王子商工会議所	宮瀬 睦夫	京王電鉄株式会社	小野 正浩
		※オブザーバー 東京都都市整備局都市づくり政策部開発企画課			
		課長代理(多摩開発企画担当)松本 修一	多摩開発企画担当		菊池 菜那
		課長代理(多摩開発企画担当)市川 健			
	事務局	拠点整備部長	中邑 仁志	市街地整備課課長補佐兼主査	逸見 洋平
		事業推進担当課長	大山 崇	市街地整備課主査	丹澤 智行
		市街地整備課長	渡部 哲也	市街地整備課主事	笹本万里江
		日建設計総合研究所	竹村 登	UR 都市機構東日本都市再生本部	廣江 優
		日建設計総合研究所	田 紳華	UR 都市機構東日本都市再生本部	稲垣 祐哉
			UR 都市機構東日本都市再生本部	色川 有	
			UR 都市機構東日本都市再生本部	信太 一郎	
議 題	1 旭町・明神町地区周辺まちづくり懇談会について（共有） 2 旭町・明神町地区周辺まちづくりの懇談会の進め方について（共有） 3 旭町・明神町地区周辺まちづくりの検討経過（共有） 4 旭町・明神町地区周辺の現状等（意見交換） 5 旭町・明神町地区周辺まちづくり構想改定の視点（意見交換）				
公開・非公開の別	公開				
非公開理由	-				
傍聴人の数	なし				
配付資料名	資料1 旭町・明神町地区周辺まちづくり懇談会開催要綱 資料2 旭町・明神町地区周辺まちづくり懇談会の進め方 資料3-1 旭町・明神町地区周辺まちづくりの主な検討経過 資料3-2 旭町・明神町地区周辺まちづくり構想 資料4-1 旭町・明神町地区周辺の現状等（まとめ） 資料4-2 旭町・明神町地区及びイノベーション創出まちづくりに関する計画等の整理 資料4-3 旭町・明神町地区周辺の現状について 資料4-4 イノベーション創出まちづくりの動向等の整理 資料4-5 旭町・明神町地区の地区開発の検討状況について 資料5 旭町・明神町地区周辺まちづくり構想改定の視点				

■旭町・明神町地区周辺まちづくり懇談会について

【拠点整備部長 中邑仁志】

- ・ 産業交流センターが令和4年に竣工を迎える予定で、それに合わせて周辺の地区開発も含めたより具体的な検討が求められている。また東京都の多摩イノベーション創出まちづくりモデル事業のモデル地区に選定された。イノベーションという新しい視点をこの地域に取り入れることで、より一層洗練されたまちづくりが検討できるのではないかと考えている。懇談会でみなさんの貴重な意見を賜りながらこのまちの新しい姿を見出し、まちづくりを実現させていきたい。

【事業推進担当課長 大山崇】

- ・ 本懇談会は原則公開である。
- ・ 本懇談会でいただいたご意見は、まちづくり構想の改定に向けた検討の参考とする。

■旭町・明神町地区周辺まちづくりの懇談会の進め方について

【事業推進担当課長 大山崇】

- ・ 懇談会の座長について、推薦はあるか。(意見なし)
- ・ 事務局からは、本市のまちづくりの懇談会を複数お引き受け頂き、市のまちづくりに詳しい明星大学の西浦先生を推薦したい。(異議なし)

【明星大学 西浦定継】

- ・ 副座長は工学院大学の野澤先生にお願いする。
- ・ 今回は懇談会ということで、統一的な案というよりみなさんの忌憚のない意見をいただき、まちづくり構想改定に向けた検討の参考としたい。

■まちづくりの方向性、まちの現状等について(資料1~4)

【拓殖大学 工藤芳彰】

- ・ 上位計画や様々な地域の面白い事例があったが、上位計画と具体的な事例がどのようにリンクするのか、どのような仕組みになるのか、この地域に組み込まれていくのか見えない。上位計画の概念と住民参加の仕組みを活性化するためにどうしていくのか、上位計画の概念と住民参加の活性化をリンクさせる仕組みづくりが重要である。
- ・ 一昨日、日本デザイン学会の遠隔会議があった。サンフランシスコのまちづくりに参画しているデザイナーによると、イノベーター達はそこに集まっているデザイン事務所に発注し、デザイナー達はソーシャルデザインの視点で儲け主義ではないアドバイス、エコシステムができている。

【八王子商工会議所 宮瀬睦夫】

- ・ 都市型広場はイベントができるような状況かどうか知りたい。フェスティバルなどのイベントをするには水道・排水設備が必要。また、公衆トイレや仮設テントが張れるかといった都市型広場の中の設備の検討が進んでいるのか知りたい。

→【市街地整備課課長補佐兼主査 逸見洋平】

イベントのしやすさは大切だと考えている。近年公園の使い方が工夫されていてノウハウや知見が蓄積されてきている。具体的な設備についての検討はまだこれからである。限られた広さであるこ

とを踏まえて、ご指摘いただいた設備に関する視点も持って進めていきたい。

【八王子商工会議所 宮瀬睦夫】

- ・ にぎわいの核となる都市型広場の作り方、人と人のつながりが大切である。MICE 推進などそういった文言が出てこないのはなぜか。

→【市街地整備課課長補佐兼主査 逸見洋平】

MICE 推進の考え方に関して、産業交流センターは様々な人が来て出合いのきっかけとなる場と考えており、イベントが広場にはみ出していくようなことを想定している。現在、産業交流センターの指定管理者を選定しているところと聞いており、連携して進めていきたい。

【八王子市商店会連合会 深沢靖彦】

- ・ 平成元年に鈴木都知事が来た際には当地区をどうにかすると言っていたが、その時は臨海副都心の開発が始まり、そちらに注力していた。八王子で工事も進み、地元としてとても嬉しい思いである。このなかで感じる場所は、権利者（旭町）の話では、まだ具体的な話は聞いていないということである。
- ・ 商業・業務拠点ゾーンの東放射線アイロードを挟んで左にある日本生命八王子ビルは築 40 年で建て替えの時期である。また、旭町地区や生活利便複合ゾーンはどうなるか具体的に見えていない。地元としても、駅間が地下もしくはデッキでつながるのかなど何を作るのかが見えていない。早くイメージ図でも地元を示してほしい。

→【市街地整備課課長補佐兼主査 逸見洋平】

開発の方向性に関しては、権利者と協議しながら、可能なものは公表していく。今日の懇談会の内容は公開なので、市のホームページに本懇談会の内容を掲載していく。来年度にパブリックコメントを行う際には、広報に掲載し、説明会を行う予定である。

【京王電鉄株式会社 小野正浩】

- ・ 公園が整備されることはよいと思う。京王八王子駅から JR 八王子駅の間はゆったりできるところがなく、急いで歩いている人が多い。まちに開かれた公園となり、用がなくても立ち寄れる公園だとよい。また他の地区でやっているような道路占用などを活用して街路ににぎわいを創出し、歩く人が楽しんで歩けるようになることを期待したい。
- ・ 八王子市全体で事業所や従業者が減っていくということだが、事業者や従業者をイノベーションで増やしていくという視点で取り組むべき。

【東日本旅客鉄道株式会社 筑井裕之】

- ・ 資料 3-2 の 1 ページ目において、今回の懇談会の中で議論の対象とするのはオレンジの線で囲まれた範囲（旭町・明神町地区）か、その周辺も含めた赤の線で囲まれた範囲のどちらなのか。

→【市街地整備課課長補佐兼主査 逸見洋平】

赤枠の広いほうのエリア（まちづくり構想対象地区）についてである。

- ・ イノベーションという言葉がキーワードとしてでてきた。具体的にイノベーションをどのような形にして取り組むのかが難しいと思った。

【多摩信用金庫 岡本彰子】

- ・ 地元の方の反応としては、まちが一体どういう風になるのか分かっていない人が多い。
- ・ エリアには飲食店も多い。飲食店の方々は人がたくさん集まる場所ができて飲食店や商店街に寄ってくれるといいと思っている。機能としては、地元の飲食店や商店街になじむものがあるといい。イベントスペースも、地元の商店街と連携しながらやっていくといい。
- ・ イノベーションに関して、ものづくりは八王子市の強みである。大事にしたい要素も取れ入れながら、先進的な技術を持った事業者なども取り入れることで未来をつくる機運が生まれ、商業と産業がうまく溶け合うような方向性が望まれる。

【工学院大学 野澤康】

- ・ 東放射線を挟んで向かい側のことが出てきておらず、中心市街地全体とからめてほしい。このエリアだけが勝ち組になって他が衰退しては意味がない。最近、中心市街地に駐車場が増えている。このエリアをきっかけとして中心市街地全体がどうなっていくかを検討したほうが良い。
- ・ 地上（東放射線アイロード）を歩行者中心とするのであれば、バス路線のみとして自動車数を減らす、車線を減らすなどを行うような大胆なことを考えても良いのではないかな。そうしたほうがコストもかからない。

【八王子市商店会連合会 深沢靖彦】

- ・ 市全体にどう波及させるかが重要である。明神町・旭町地区だけでなく、西側もどうするかははっきりさせる必要がある。
- ・ 赤の線で囲まれた範囲（まちづくり構想対象地区）は、駅前の交通広場の課題や全体の総合計画を踏まえた計画などを考えることが必要かもしれないが、2、3回の懇談会では難しいのではないかな。

【八王子商工会議所 宮瀬睦夫】

- ・ 北口の駅前広場は使いにくく、そこも含めて検討が必要ではないかな。大規模なイベント時の大型車のルートも考える必要があるのではないかな。

→【市街地整備課課長補佐兼主査 逸見洋平】

基盤整備が重要であることは認識している。駅前広場などの交通処理については、まちづくり構想で示す内容より詳細な内容になるので、本構想で位置付けるのはなじまない。関連の交通計画などは別途検討しており、上位計画を含めて整合を図る。

【明星大学 西浦定継】

- ・ 次回の懇談会で、中心市街地全体の考え方や交通の資料も提出していただきたい。

→【市街地整備課長 渡部哲也】

八王子駅周辺交通円滑化対策の提言がされており、まちづくりに反映していきたい。

■まちづくり構想改定の視点について（資料5）

【拓殖大学 工藤芳彰】

- ・ イノベーションのイメージを、ソフトという言葉の使い方も含めて、もう少し具体的に表現したほうが良い。例えば、アップルやアマゾンという大企業のレベルではなく、地場の企業を変革すると

か、地元組織である町会などの既存のコミュニティをアップデートする交流の場であるとか。

【八王子商工会議所 宮瀬睦夫】

- ・ 資料5の中に、資4-5で示されている住宅、商業、宿泊など具体的な機能を入れたらよいのではないか。資料5は抽象的なので、もう少し具体的に考えを記載したら分かりやすい。

【八王子市商店会連合会 深沢靖彦】

- ・ 地元は、再開発の周辺がどうなるのか気にしている。次回の懇談会では、交通や中心市街地のあり方について、具体的に示してほしい。

【京王電鉄株式会社 小野正浩】

- ・ 生活利便複合ゾーンでは「共同化」とあるが、どのように進めるのか。

→【市街地整備課課長補佐兼主査 逸見洋平】

本エリアは駅にも近く、共同化や高度利用による多様な機能集積を目指す方向が考えられる。それを促進する手法として共同化した建物の低層部に商業・業務機能を入れる要綱もある。

【東日本旅客鉄道株式会社 筑井裕之】

- ・ 駅前広場の重要な機能として、まちとの結節点、二次交通との接続、防災などがある。ウォークアブルな機能だけではなくて、こういった機能をどう盛り込むのかという視点がある。しかし、現在のJR八王子駅・京王八王子駅ともに駅前広場には余地がなく整備ができないとするならば、アイデアとして、数百m離れているJRと京王の駅を“一つの駅”と捉えて、両駅の間に位置する当地区に駅前広場の機能を盛り込むのも一案ではないだろうか。

【多摩信用金庫 岡本彰子】

- ・ 商業・業務拠点ゾーンに、「クリエイティブな人材が家族とともに快適に過ごせる、快適な居住空間」と書いてあるが、業務・商業拠点ゾーンと生活利便複合ゾーンに住む人との差がないようにしたい。
- ・ イノベーション創出まちづくりに関しては、ソフト施策などの課題を出していくことが必要だと思う。具体的な対応例や実際の担い手の検討を今から行っていく必要があると思う。八王子市が考えるイノベーションを早めに地元へ打ち出したほうが良い。

→【市街地整備課課長補佐兼主査 逸見洋平】

イノベーションまちづくりに関して手探り状態であり、こういったものがふさわしい機能なのか検討を進めていきたい。

【工学院大学 野澤康】

- ・ 生活利便複合ゾーンでは、共同化や建て替えで新しい機能を入れることには疑問がある。中心市街地の他の場所に種地があるのであれば、そこに新しい機能を誘導するべきである。このエリアは駅裏的なところであり、駅に近いからといって高度利用すべき時代ではない。
- ・ 産業交流センターの敷地の計画はどうなっているのかが分かれば広場との一体的な活用などももう少し具体的な議論ができる。交通結節点機能のある広場は現状の駅前広場で確保し、当地区を新しい駅前広場と捉え、その中に施設があるという考え方もあるのではないか。

→【市街地整備課課長補佐兼主査 逸見洋平】

産業交流センターの工事は進んでおり、敷地の変更は難しいが、都市型広場はセンターの敷地と一体的に活用できるよう調整する予定である。

【八王子市商店会連合会 深沢靖彦】

- ・ 産業交流センターと旭町地区の間の細い道路をなくすという動きがあったが、地元の人と話は進んでいるのか。

→【市街地整備課課長補佐兼主査 逸見洋平】

廃道するかも含めて検討中である。